

平成 23 年度 第 4 回 石狩市環境審議会 議事録

日 時 平成 24 年 2 月 24 日 (金) 13 時 30 分 ~ 16 時 00 分
 場 所 石狩市役所 3 階 庁議室
 案 件 石狩市一般廃棄物 (ごみ) 処理基本計画の策定について (継続審議)
 石狩市環境白書 '11 について
 第 2 期 石狩市役所の事務・事業に関する実行計画 (案) について
 石狩市石狩川河口海浜植物等保護条例施行規則の一部改正について
 その他

出席者

石狩市環境審議会

会 長	近 藤 哲 也	副 会 長	乗 木 新 一 郎
委 員	愛 澤 桃 美	"	工 藤 昇
"	酒 井 敏 一	"	野 昭 夫
"	長 谷 部 清	"	山 口 昌 子

事務局

環境室長	有 田 英 之	ごみ対策課長	齊 藤 智 春
低炭素社会推進担当参事	鍋 谷 英 幸	海浜植物保護センター担当主任	内 藤 華 子
環境担当主査	佐 々 木 幸 治	環境担当主査	工 藤 隆 之
環境担当主事	藤 彰 矩		

傍 聴 0 名

議 事

近 藤 会 長 第 4 回環境審議会を始めたいと思います。それでは議事次第にありますように、今日の議題は 4 つあり、「石狩市一般廃棄物 (ごみ) 処理基本計画の策定について」、「石狩市環境白書 '11 について」、「第 2 期 石狩市役所の事務・事業に関する実行計画 (案) について」、「石狩市石狩川河口海浜植物等保護条例施行規則の一部改正について」、「その他」になっています。それでは事務局の方から 1 つ目の議題について説明をお願いします。

- 事務局（鍋谷）（資料説明（資料 1.1, 資料 1.2））
- 近藤会長 全般にわたってご意見・ご質問はございませんか。
- 乗木委員 45 ページの上段、バイオマス資源を利活用した民間によるバイオマスエネルギー事業を支援するとありますが、民間によるバイオマスエネルギー支援とは具体的に何かあるのでしょうか。
- 事務局（鍋谷） 現在のところバイオマスをエネルギーとして活用する施設はございません。
- 昨年度 NEDO の補助金をいただきながら、食品系残さから発生させたバイオガスを、都市ガスに導管流入する検討調査を行いました。今後民間事業者で、このような事業を行う業者がいましたら、収集した生ごみを搬入するなど支援を行っていきたいと思っています。
- 事務局（有田） また、現在排熱についてはキノコの栽培にも利用しています。
- 近藤会長 事務局の方で差し支えなければ、例をあげてはいかがでしょうか。
- 事務局（有田） 現在の排熱利用については実績があるので、今後も続けていくつもりですが、バイオガスについては、ここに書いてある域を出ていないので、事業性が具体的になったら記載します。
- 工藤委員 図表タイトルの位置など修正をお願いします。
- 事務局（鍋谷） 修正いたします。
- 工藤委員 排熱利用とありますが、どの位の熱量が利用可能なのでしょうか。
- 事務局（有田） 余っているような状態ではありません。施設の暖房、敷地内のロードヒーティング及び残った熱をキノコ栽培に供給しています。
- 工藤委員 膨大な熱量があるならば、考え方も変わると思いましたが、そうではないのですね。
- 長谷部委員 17 ページのほぼ同等の値とありますが、どれと比べて同等となっているのですか。
- 事務局（鍋谷） 全国平均、全道平均と比べてです。
- 長谷部委員 それならば、その内容をカッコ書きでもよろしいので記載された方が良いと思います。
- 工藤委員 最終処分地からの排水の処理は意識されているのでしょうか。
- 事務局（有田） 基準に適合するよう処理したものを海に放流しています。
- 工藤委員 34 ページの 5 式を導きとありますが、導いたのではないので、近似し、ではないでしょうか。
- 事務局（鍋谷） 修正いたします。
- 乗木委員 45 ページ情報提供について、パンフレット等とありますが、生徒向け教材などの配布を考えていただけませんかでしょうか。
- 事務局（有田） 出前講座などで、パワーポイント等を使用し、説明を行っています

ので、資料等の配布は可能です。

近藤会長 ご意見が無ければこの件については、了承ということで終わりたいと思います。

今後私と事務局の方で答申書を作成したいと思いますが、何かありましたら事務局までお問い合わせください。

それでは、次の案件である「環境白書‘11」について事務局の方から説明をお願いします。

事務局(有田) (資料説明(資料2))

近藤会長 全般にわたってご意見・ご質問はございませんか。

工藤委員 29ページの(2)の上段のP85とありますが、P87の誤りではありませんか？

事務局(工藤) 修正いたします。

野委員 確認をさせてください。先程ごみの説明がありましたので、今回の説明では割愛されましたが、先程と排出量が少し異なりますが、これは何が原因となっていますか。

事務局(鍋谷) 今回、ごみ処理基本計画を策定するにあたり、環境省のマニュアルに基づいて作成し、今までの計画における1人当たりの排出量に資源物は含まれていませんが、今回のごみ処理基本計画からは、資源物を含めています。ですから、来年度からは、このごみ処理基本計画に基づいて公表することになります。

工藤委員 34ページの図4-13において、ST4とST6の間に運河橋と記載がありますが、なぜここに運河橋と記載しているのですか？

事務局(有田) 31ページをご覧ください、厳密には運河橋ではありませんが、ST6が運河橋となります。ですから、図4-13のST6を運河橋としています。

近藤会長 文中の図表番号記入忘れなどが多数ございますので修正してください。

例えば、53ページの図の説明が何処にもされていませんが、表5-8に公共下水道の普及状況を示しましたといった内容を記載してください。

55ページ表6-1の単位の位置をごみ処理量(t)といったように工夫してください。

工藤委員 図4-13中ST4が6まで上がっていますが、これは精度の問題ですか。

事務局(有田) これは精度の問題ではなく、通年行っているのか、それとも夏場だけ行っているかの違いとなります。開発局は通年行っており、市では

- 夏場だけで行っています。値は、夏は高くなり、冬は低くなります。
- 工藤委員 34 ページにルネッサンスの事が書かれていますが、導水を行った結果は全く現れていないように思います。
- 事務局(有田) この段階では、まだ結果は出ていません。石狩川本流からは1か所ですが、豊平川からも創生川経由で入っていますし、伏古川も豊平川から導水しています。石狩川は札幌大橋の辺りから入っています。ただ、入れた付近では数値が下がりますが、下流の方まで来るのはかなり時間がかかります。
- 近藤会長 20 ページ、アライグマに関して、これを見ただけでは増減が分かりませんので、トラップにかかった率がおわかりならば、書いた方がいいかもしれません。
- 長谷部委員 狂犬病の予防注射は義務付けられているのは知っていますが、これが100%に達するとは思いませんが、なぜ60~70%弱でとどまっているのですか。
- 事務局(有田) 考えられることは、毎年お金がかかるという事と、室内犬も多く注射をしなくても感染することはないだろうという思い込みがあると思います。予防注射の案内は毎年出しています。
- 近藤会長 それは義務ですか。
- 事務局(有田) はい
- 近藤会長 罰則もあるのですか。
- 事務局(有田) はい。ただ、罰則をかけたことはありません。
- 近藤会長 78 ページ文中にシナリオとありますが、何を意味しているのですか。
- 事務局(鍋谷) 調査の中では色々なケースを想定していますが、ここでは説明が不足していましたので、再考します。
- 近藤会長 73 ページにおける太陽光システムについて、各家庭の稼働率は把握していますか。
- 事務局(有田) はい。市役所の太陽光パネルについては、ロビーにモニターを置いて稼働率などを表示しています。
- 工藤委員 15 ページ紅葉山公園について、活用内容などもう少し記載をお願いします。
- 事務局(有田) 検討いたします。
- 近藤会長 それでは、白書についてはこれで終わりたいと思います。お気づきの点などがございましたら、事務局までご連絡ください。

< 休 憩 >

- 近藤会長 それでは3つ目の議題である、「第2期 石狩市役所の事務・事業に関する実行計画(案)」について事務局の方から説明をお願いします。
- 事務局(鍋谷) (資料説明(資料3))
- 近藤会長 ありがとうございます。この内容に関しまして、ご意見、ご質問はございますか。
- 事務局(有田) J-VERなどで出てきた二酸化炭素量も考慮に入れるのですか。
- 事務局(鍋谷) ここでは、市の事務・事業で削減できる分だけを対象としています。
- 野委員 オフィス活動と、建設土木工事、徐排雪、イベントなどに対して環境配慮型の指針をもって取り組んでいきます。
- 野委員 公共工事などに環境配慮型ガイドラインを作るとありますが、請け負う業者が環境に配慮していない業者を排除するわけではないですね。
- 事務局(有田) そこまでは考えていません。
- 野委員 総合評価方式を採用するものではないという事ですか。
- 事務局(有田) そうです。
- 野委員 発注の中に環境に配慮するような仕様を付加していくという事ですか。
- 事務局(有田) そういうことです。
- 近藤会長 市の中だけの計画ですが、何か勉強会などを開くのですか。
- 事務局(有田) はい。職員の研修会などを開いていきます。
- 野委員 オフセットクレジット登録事業に関しては、環境基本計画などに追加していく事はあるのですか。
- 事務局(有田) 温暖化対策推進計画の内容となりますが、計画を作成したのは合併前で、林業の割合が少なかったので、考慮に入れていませんでしたが、今後の見直しの中に入る事となります。
- 野委員 今年度予算の中にLEDの街路灯などがありますが、これはこの計画の取り組みに入ってくるのですか。
- 事務局(鍋谷) はい。省エネ機器の導入等のところに入っていきます。
- 近藤会長 10ページのHF管とはどのようなものですか。
- 事務局(鍋谷) 現在、市役所本庁舎は従来の蛍光管ですが、HF管は、より省エネ型の蛍光管となります。
- 近藤会長 それでは他にないようなのでこれで終わりたいと思います。
- 事務局(内藤) それでは次の議題である「石狩市石狩川河口海浜植物等保護条例施行規則の一部改正について」について事務局から説明をお願いします。
- 事務局(内藤) (資料説明(資料4))
- 近藤会長 この内容に関しまして何かご意見ご質問はございませんでしょうか。

無いようですので、これで終了させていただきます。

その他とありますが、事務局の方から何かございますか。

事務局（有 田） 今日から 1 ヶ月間、北海道電力の石狩湾新港発電所建設計画の環境影響評価方法書が縦覧されていますので経緯を説明します。

北海道の電力の多くを消費する札幌に近いこの地域に、LNG 発電所が図中の地域に建設されることになり、最終的には 3 基建てられる事になっています。

近 藤 会 長 今回はこれから環境影響評価書をつくるための方法を縦覧することになるのですか。

事務局（有 田） はい。今日から 30 日間縦覧し、意見書は、今日から 45 日間受け付けることになっています。

近 藤 会 長 これについて何かありますか。

それでは、本日の議題は全て終了しましたのでこれで終わりたいと思います。

議事録を確認しました。

平成 24 年 3 月 17 日

石狩市環境審議会

会長 近藤哲也